

フランスの  
マルセイユから来たのよ！  
クールなすごい  
モトにビックリしたわ!!



目的地の日光二荒山神社は国の重要文化財に指定されており、国際的に有名な観光スポットとして外国人も多い。

今回、初参加にして参加車中最大排気量の Z1300 で来ました。横田悦郎（ヨコタエツロウ）50歳です。今日は不参加だけど奥方も W800 に乗ってます。最新のバイクには魅力を感じないので、つついっ絶版車に惹かれてしまいます



圏央道・狭山パーキングエリアでは、マシンチェックのために完熟走行でメンバーが次々に入ってきた。



土曜日という混雑するサービスエリアのガソリンスタンドで、給油を2列に並んで待つオーナーたち。



都賀西方PA前を通過する一行。東北自動車道は土曜日という行楽日和にもかかわらず、混雑もなくツーリングにはもってこいの状況だった。先導車を追隨しての高速走行は、程良いペースの車列を作って整然とマナー遵守で走行。

日光を目指して  
みんなで走る、疾走る!

参加者が異口同音に訴えることが、ウエマツスタッフのサポート隊の併走があるので、絶版車のオーナーとしては安心してツーリングに参加できるということだ。今年も28台の参加と盛況なツーリングとなり、2台が初参加のメンバーだった。その内の1台は日野市から参加の鈴木健二さん、三人兄妹の末っ子「茉央さん7歳」とタンDEM参加。茉央さんが前日までお腹を壊していたため大事をとって佐野SAで引き返されたが、茉央さんにとっては初めてのツーリングがご満悦で、まだまだ走りたがっていたそうだ。「ウエマツ」を出発し、圏央道を走り「狭山PA」でマシンチェックのための小休止、さらに北上して「富浦PA」で給油休憩、東北道の「佐野SA」で早めの昼食をとって「大谷PA」で途中参加メンバーと合流して日



川越から嫁さんと参加の廣田諭慈・薫（ヒロタユウジ・カオル）49歳です。前回に続いて参加しました。とても走りやすく楽しかったです。ウエマツのサービスには満足、現在は中型しか持っていないので将来は大型が欲しいです。



先導車を担った浅尾祐介（アサオユウスケ）34歳です。普段はKZ900LTDに乗っていますが、本日は奥さんのCB400FOURリックマンで来ました。メンバーさんの協力で無事先導しましたが、先導にはインカムが必須だと思います。



タンDEMで青梅からKZ900で来た中村貴博（ナカムラタカヒロ）33歳、奥さんの恵（ケイ）です。ウエマツのツーリングは第一回から皆勤賞です。タンDEMでも参加しやすく、安心して走れるので楽しい一日を過ごせます。



佐野SAから先導した船渡川優（フナトガユウ）32歳です。マストツーリングでは料金所がネックになりますが、皆さんのご協力で気持ち良く走ることができました。愛車のマツ八も調子が良いので「いろは坂」を走りに行きます。



休憩タイムには、気になるマシンを見つけオーナーをつかまえて、アレヤコレヤの質問攻めをすることが礼儀だ!



ウエマツツーリングではサポートも充実しているが、マシン自体の整備が完璧だから高速でも快調に走行できる。



奥はご夫婦でタンDEM参加の中村さん（左ページにて紹介）。手前のCB1100RDを操るのは川口市から参加の布施嘉一さん59歳。当日の最年長ライダーだが、年齢など全く感じさせないバイクフリークだ。



みんな一緒に今日一日いっぱい  
楽しかったぜ!!

目的地の日光二荒山神社駐車場に無事到着。全員での記念撮影では、満面の笑顔が参加者の満足と友好の証として写っています。



茉央ちゃんにとっても初めてのツーリングで、参加したことを喜んでくれたことが最高の幸せだという鈴木さん。



ツーリングでできた仲間は、自分の知らない情報やメンテナンス知識の大事な情報源として絶版ライフに欠かせない。

光宇都宮道路で東照宮へと向かった。今回の走行では、先導をメンバーの有志が務め、ツーリングを成功させた。タンDEM参加もあり、一般道、高速道と様々な状況に対応した走りが要求される先導は、気遣いや注意力、運転技量が要求され重責だったに違いないが、参加者全員の協力があったことも無事故の要因だった。

走りを楽しむ存分楽しんでいた参加者達も、休憩タイムには各々のマシンの調子をチェックしつつ、他のバイクの品定めや情報収集に余念がなかった。こういった交流を通して仲間が増えて行くことがZUOCの価値ある活動だということ皆さんの笑顔が印象的だった。

目的地の日光東照宮・二荒山神社駐車場に到着すると、周囲の観光バスから降りてきた外国人に取り囲まれオーナー達が注目的にマルセイユから日本観光に来たというフランス人から記念写真の放列にあっていたのが印象的だった。